

私たちの挑戦

3

人と組織のトランスフォーメーション

デジタル技術でプロセスを変え、多様性で発想の幅を広げることで人と組織に変革をもたらし、強い競争力をもって世の中に貢献し続ける“a digitally savvy company”を目指します。



DX推進体制

クラレグループは、DXビジョン「デジタルを経営に取り込み、高い競争力を持って常に進化し、世の中に貢献する」のもと、「カスタマーエクスペリエンス(顧客体験)の改革」「業務プロセスの改革」「ビジネスモデルの改革」「研究開発・生産技術シミュレーション」の4つの重点分野を設定し、中期経営計画「PASSION 2026」の中核戦略の一つとして全社的にDXを推進しています。ビジョンの実現には、「ヒト・データ・プロセス・システム」の4点を整合させながら、DXを迅速に推進できる総合力が求められます。例えば、サイバーセキュリティの高度化には、優れたセキュリティシステムの導入に加え、ヒトのデジタルリテラシーの向上、重要データの適正な管理・把握、セキュリティ管理プロセスをグローバルレベルで整備することなどが必要となります。

2023年1月、クラレグループは上記4点を調和させながら推進するため、グローバルデジタルトランスフォーメーション推進室、IT統括部、経営企画部G-SAP推進グループを統合再編し、DX-IT本部としました。DX関連の施策を一体組織となって迅速かつ効率的に推進することで、“a digitally savvy company”を目指していきます。

DXビジョン

“デジタルを経営に取り込み、高い競争力を持って常に進化し、世の中に貢献する”
“a digitally savvy company”

重点分野

1

カスタマーエクスペリエンス
(顧客体験)の改革

- ◆ 顧客理解
- ◆ 顧客との接点

2



業務プロセスの改革

- ◆ プロセスのデジタル化
- ◆ 能力・効率アップ
- ◆ パフォーマンス管理

3



ビジネスモデルの改革

- ◆ デジタル化されたビジネス
- ◆ 新しいデジタルビジネス
- ◆ デジタルによるグローバル化

4

研究開発・生産技術
シミュレーション

- ◆ 化学反応シミュレーション
- ◆ プラントシミュレーション

DX-IT本部

データドリブン組織

「データで考え、データで決める」

デジタルリテラシー向上

データアナリティクス人材比率の向上

カスタマーエクスペリエンス(顧客体験)の改革

クラレグループはカスタマーエクスペリエンス(顧客体験)の重要性を認識しており、化学メーカーとしてお客さまからの信頼を獲得し、お客さまから求められるパートナーになりたいと考えています。

お客さまとのコミュニケーションを重視し、課題やニーズに合った製品・サービスを提供するために、基幹システム、CRM^{*1}、研究開発関連データの連携・分析を強化していきます。

クラレグループとの取引を通じてお客さまにより良い体験を提供すべく、事業部、イノベーションネットワークセンター(INC)、サステナビリティ関連の活動と連携させながら、グループ全体で顧客満足度の向上と長期的な関係性の構築を目指します。

※1 Customer Relationship Managementの略。顧客情報の管理システム

業務プロセスの改革

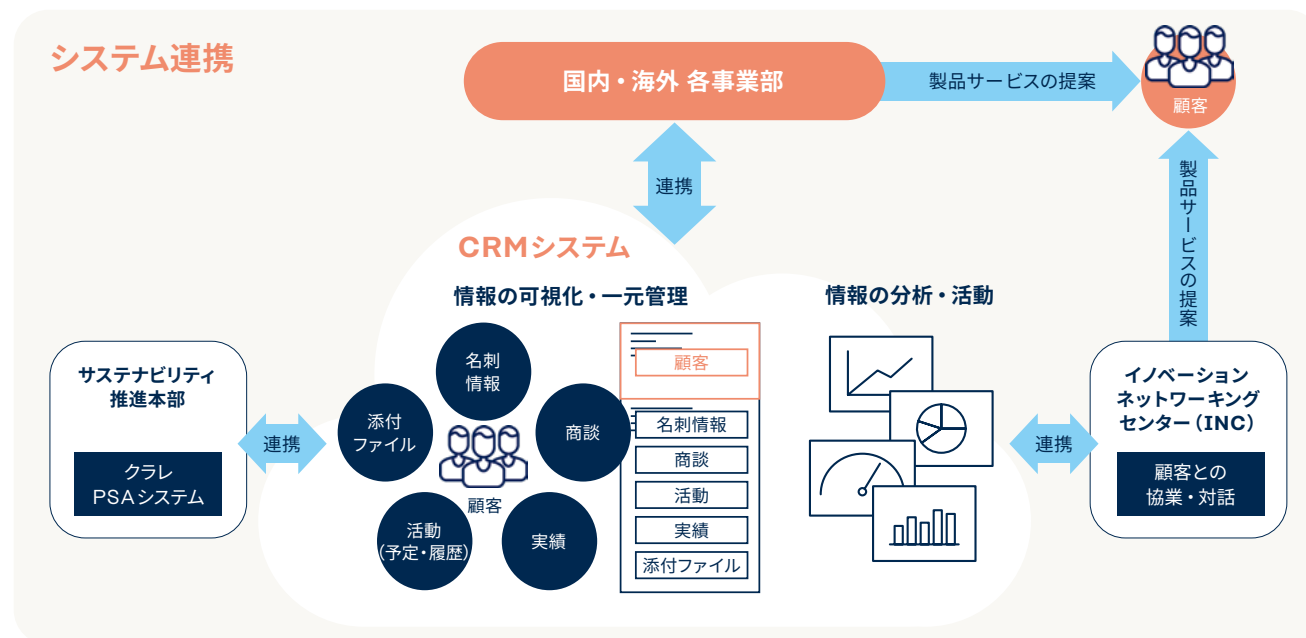
各業務プロセスのデジタル化によってパフォーマンスを向上させるための改革で、非常に広範なテーマになります。現在マニュアルで実施されている作業の中で、デジタル化により飛躍的な生産性の向上が期待できるプロセスの選定を進めています。

また、安全な環境のもとでグローバルにITを積極活用できる体制を構築するため、COBIT^{*2}をフレームワークとしたITガバナンスの整備にも着手しています。2022年は、COBITで定められた項目に沿って、クラレグループのITガバナンスの成熟度を評価し、目標レベルとのギャップを埋める施策の洗い出し、優先順位付け、ロードマップ化を実施しました。

加えて、2023年4月には国内6事業部でグローバルSAPシステム(SAP S/4HANA)の利用を開始しました。これらの事業部ではグローバルに同じERP^{*3}を使用し、効率的な事業運営が可能となります。

※2 Control Objectives for Information and Related Technologyの略。ISACA(情報システムコントロール協会)が策定するITガバナンスとITマネジメントのフレームワーク

※3 Enterprise Resource Planningの略。企業の経営資源を一元管理し、企業全体の最適化を実現するためのシステム



ビジネスモデルの改革

サービスにデジタル技術を組み合わせ新しい価値を生み出す仕組みづくりを積極的に進めています。独創性の高い製品を強みとするクラレグループは、プロダクトアウト型のビジネスモデルの傾向がありました。そのため、ひとたび社会ニーズが下火になると製品の適応力が損なわれるという課題もありました。また近年、「モノ」から「コト」へと消費行動の変化が一層進んでいます。

このような背景から、クラレグループでは、2022年からユーザーへ新たな価値を提供するコンセプトデザインを開始しました。既存事業のビジネスモデルにIoTを活用したインタラクティブなデジタルサービスという価値を付加することで、新たなビジネスモデルを構築していきます。

研究開発・生産技術シミュレーション

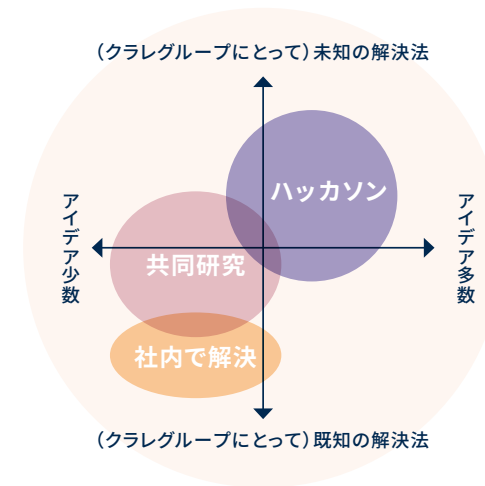
研究開発や生産技術における新たな課題解決の方法として、ハッカソン^{※1}大会の定期的な開催を計画・運営しています。従来の社内リソースや共同研究とは異なるアプローチで、クラレグループにとって未知の解決策を含め、広くアイデアを探ることが目的です。

2022年は、クラレグループがハッカソンを継続的に運営していくための基盤づくりの年として、11月に米国の複数の大学の学生を対象に募集をかけ開催しました。2023年以降も、得られた運営ノウハウなどを生かして開催頻度を高め、対象地域を拡大していく予定です。

※1 大学生などのチームが短期間で技術課題の解決策を提案する賞金付き技術コンペ

ハッカソン

- 幅広い分野から参加者を募集できる
- 主催者の思いもよらない解決策が得られる可能性がある
- 短期間で多数のアイデアが得られる

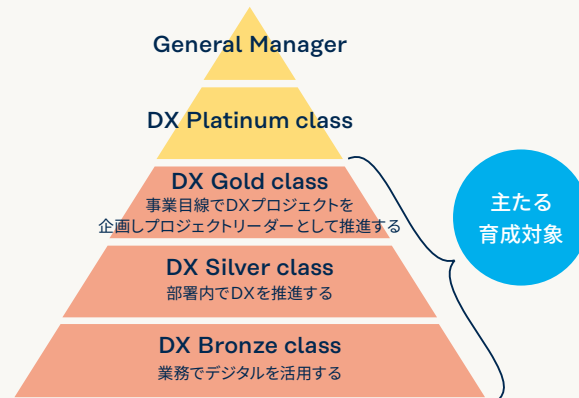


DX人材の育成

クラレグループは、全社員がデジタルの進化に後れをとらないように学び続ける風土、環境をつくり上げることが重要であると考えており、2023年よりDX人材育成プログラムをグローバル施策として開始しました。Gold, Silver, Bronzeの3段階のデジタルリテラシーレベルを設けて、それぞれに対応した育成カリキュラムを整備しています。全社員が少なくともプロンズクラスを習得する教育体系としています。

また、各部門には少なくとも1人ずつ、DXをリードする人材を育成・配置し、その知識を部門全体へ、最終的には会社の隅々にまで広げていきます。データサイエンティストなどの専門性の高い人材の育成についても2023年より検討を開始しています。

DX人材育成プログラム



「PASSION 2026」期間中のDX人材育成計画人数^{※2}(国内)

クラス/対象	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	累計
DX Gold Class 選抜	25	25	25	25	100
DX Silver Class EC (総合職)	100	300	400	400	1,200
DX Bronze Class 全社員	4,800	200	200	200	5,400

※2 2022年12月末時点での見通し。海外は今後の実態調査後に試算予定。